



2021年11月25日

株式会社アイネットの 事業説明と成長への取り組み

東証 1 部
証券コード 9600



1. 自己紹介

2. 会社概要

3. アイネットの強み

4. 中期経営戦略

5. ESGへの取組み

6. 株主還元

Appendix
(2022年3月期2Q 業績概要)

代表者プロフィール

さかい みつる
坂井 満

株式会社アイネット
代表取締役 兼 社長執行役員



経歴

- ・ 1957年11月 神奈川県横浜市生まれ
- ・ 1980年 4月 富士通株式会社入社
- ・ 2013年 4月 株式会社富士通マーケティング執行役員
兼 商品戦略推進本部長
- ・ 2015年 4月 当社入社 執行役員ソリューション本部
- ・ 2017年 4月 当社常務取締役事業統括 兼 ソリューション本部長
- ・ 2018年 6月 当社代表取締役社長就任
- ・ 2019年 6月 当社代表取締役 兼 社長執行役員（現任）

私の信条

幸せはいつも自分の心が決める

情報技術で Enjoy Lifeを応援します!

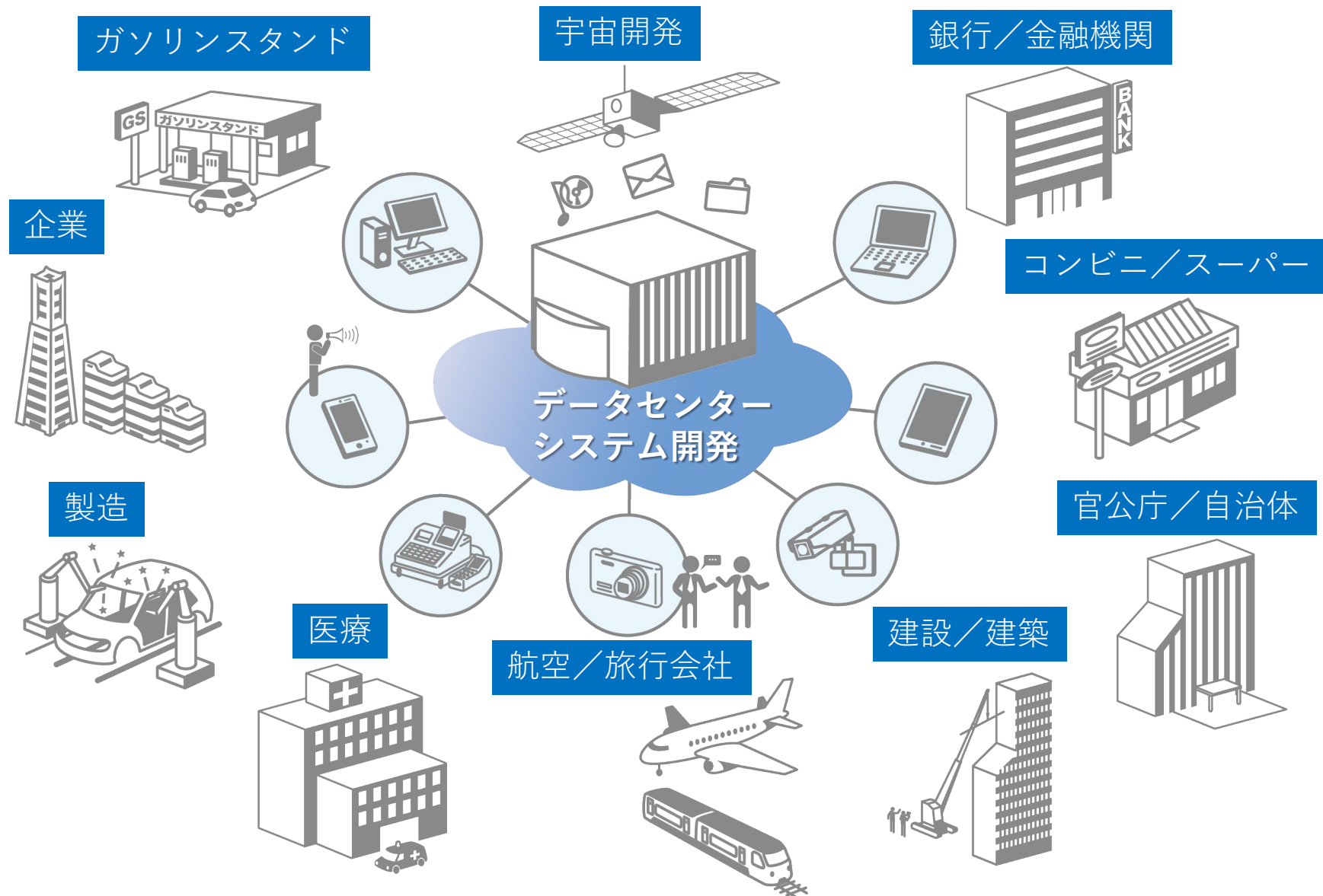
Enjoy your life with information technology!



情報技術で新しい仕組みや価値を創造し、豊かで幸せな社会の実現に貢献する。

情報技術は日々めまぐるしいスピードで進化を続けています。私たちは社会や企業から必要とされる新しい仕組みや価値を、これまで培ってきた情報技術の力で創ってきました。私たちは「情報技術でEnjoy Lifeを応援します」、そして「inet」の「ICT」が社会や企業の豊かで幸せな未来になると信じ、これからも最適なサービスをお届けしていきます。

アイネットはITサービスで、 皆様の生活や企業活動をサポートしています





2. 会社概要

■ 商 号 株式会社アイネット（プライム市場選択申請中）

■ 設 立 1971年4月22日（**50周年**）

■ 本 社 横浜市西区みなとみらい3-3-1

■ 資本金 3,203百万円

■ 創業者 創業者最高顧問 池田 典義

■ 代表者 代表取締役
兼社長執行役員 坂井 満

■ 子会社 株式会社ISTソフトウェア
株式会社ソフトウェアコントロール
株式会社アイネット・データサービス

■ 社員数 1,726 名（連結）※2021年4月1日現在
1,012 名（単独）

■ 事業所／支店／データセンター
東京事業所

札幌支店、仙台支店、中部支店、大阪支店、中四国支店、福岡支店
第1データセンター、第2データセンター



inet 株式会社 アイネット

資本金 3,203百万円
連結従業員 1,726名
単体従業員 1,012名

事業内容

情報処理サービス
システム開発サービス
システム機器販売

連結子会社
100%

it 株式会社 ISTソフトウェア

資本金 608百万円
従業員 468名

連結子会社
100%



株式会社ソフトウェアコントロール

資本金 54百万円
従業員 246名

非連結 特例子会社
100%

株式会社 アイネット・データサービス

資本金 9百万円
従業員 23名

1971 株式会社フジコンサルト（アイネットの前身）を設立

ガソリンスタンド向け受託計算事業を開始・・・《創業ビジネス》

現在シェアNo.1

1991 日本コンピュータ開発株式会社と合併

株式会社アイネットに商号変更・・・《システム開発サービス開始》

1995 店頭公開

1997 東証2部上場

1998 第1データセンター第1期棟稼働・・・《自社データセンターを建設》

2001 株式会社ソフトサイエンスと合併・・・《宇宙、制御へ業務範囲拡大》

2006 東証1部指定

2009 第2データセンター第1期棟稼働・・・《業界に先駆けてクラウドサービスを開始》

2015 次世代型クラウド基盤「Next Generation EASY Cloud®」基盤開発を開始

2017 ドローン飛行場「Dream Drone Flying Field」を千葉県君津市に開設

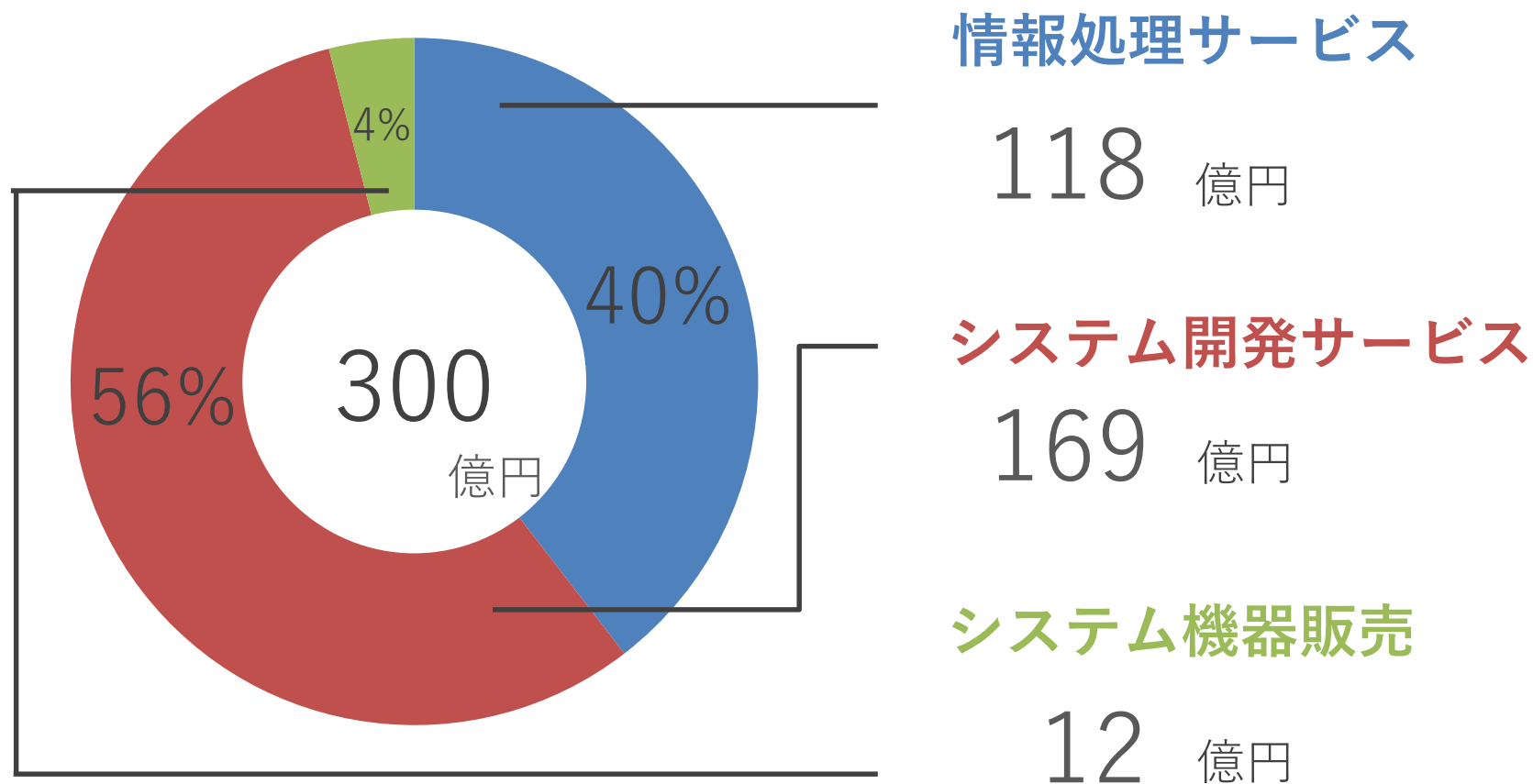
2018 株式会社ソフトウェアコントロールを子会社化

2021 創立50周年

2021 東京証券取引所新市場区分においてプライム市場を選択申請



当社は、以下の3つのサービス区分で、お客様にサービスを提供しています。



独立系データセンター事業者としてトップクラスの企業であり、様々な業種のお客様にサービスを提供しています。



第1データセンター
(横浜)



第2データセンター
(横浜)

全国で事業展開

横浜の自社データセンター4棟に加え、北海道、長野、大阪に提携データセンターを所在

最新のクラウドデータセンター

国内最高クラスの安全性と最新テクノロジーを備えた次世代型データセンター

国内ランキング20位

インプレス社、国内データセンターランキング記事（クラウド&データセンター完全ガイド2021年10月1日）より

※床面積ベース

クラウドデータセンターを利用し、自社ブランド「Dream Cloud®」として様々なクラウドサービスを提供しています。

【クラウド基盤】

Next Generation
EASY Cloud®

【リモートデスクトップサービス】

VIDAAS®
Private Cloud Desktop as a Service

【ファイル共有サービス】

Cloudstor®
Private Cloud HDFS Storage Service

【ドローンIoTプラットフォーム】

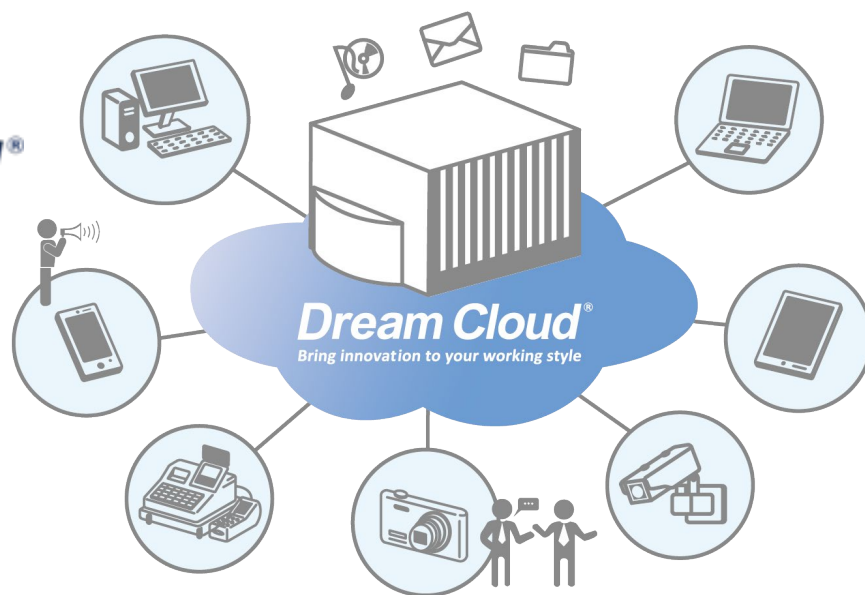
 **Dream Drone**®

【ビジネスチャット】

 **ChatLuck**

【名刺管理サービス】

名刺バンク



創業以来、石油販売に関する計算処理代行等を全国のガソリンスタンド（SS）にサービスとして提供しています。



国内シェアトップクラス

全国（札幌・仙台・首都圏・名古屋・大阪・中四国・福岡）7拠点でSSをフォロー
50年以上にわたる実績をもとに約3割のガソリンスタンドとの関わりを持つ

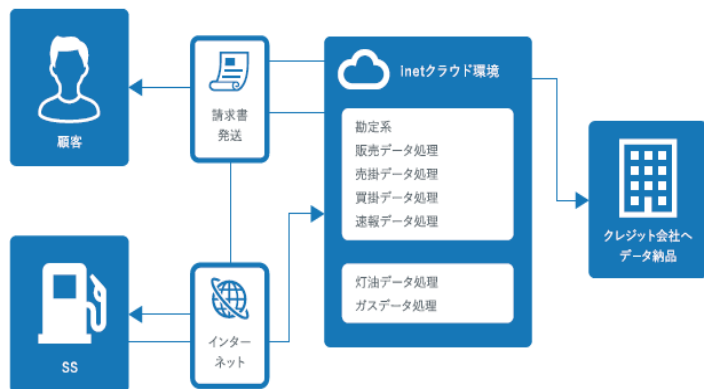
元売・商社系から計算処理代行指定

石油元売（ENEOS・出光興産・キグナス石油・太陽石油）、商社（伊藤忠エネクス・三菱商事エネルギー・丸紅エネルギー・三愛石油）傘下のSS勘定系/クレジット処理を提供

長年の成長を支えるストックビジネス

長年の実績がある石油販売業向け勘定系システムをベースに多数のSSにサービスをご利用いただき、毎月の処理料を頂戴し成長

（基本的な処理概要）



- ・ 元売勘定システム構築支援
- ・ クレジット処理
- ・ 卸システム構築支援
- ・ ガスシステム構築支援
- ・ 決済サービス支援

等

ストックビジネスの定義

- 毎月定額で売上を得られるもの
- 次年度以降も契約が継続されるもの
- ストックビジネス=情報処理サービス

ストックビジネス拡大メリット

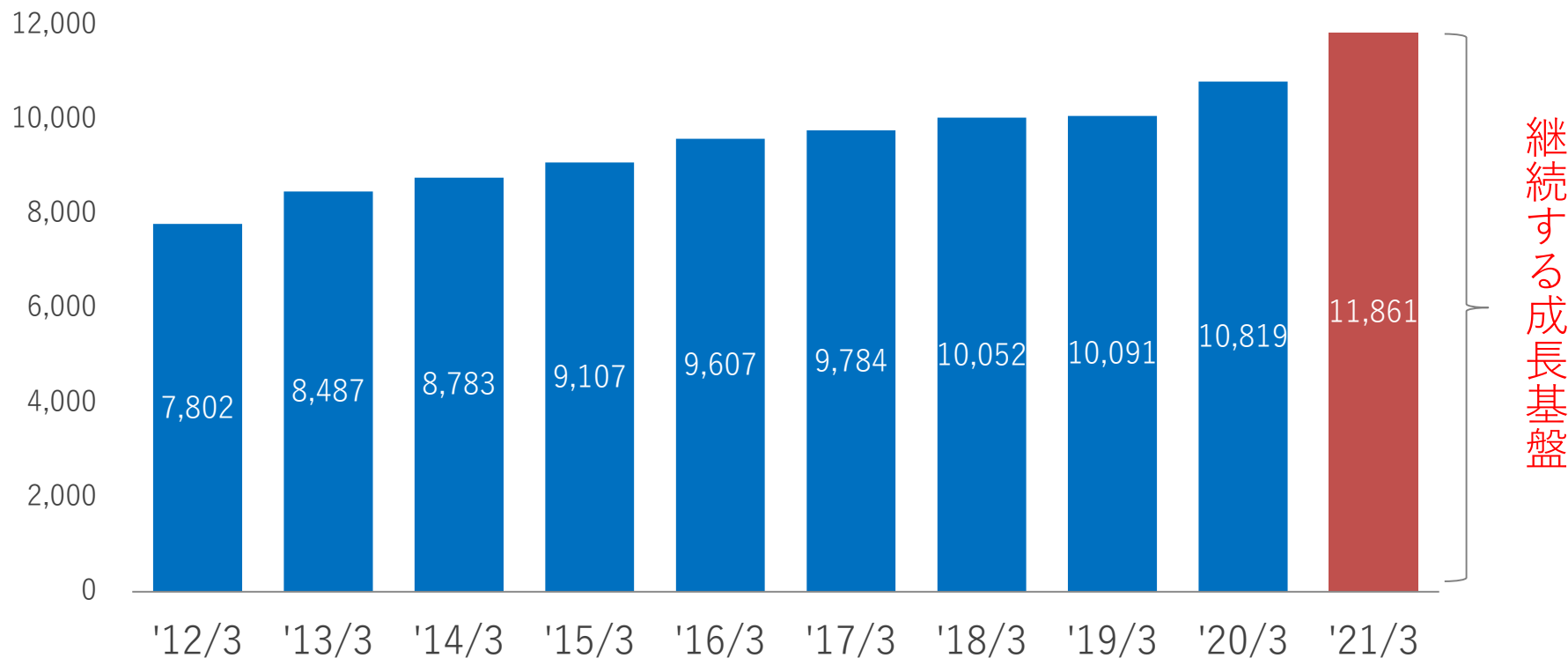
- 継続的な売上による **成長基盤**
- **高い利益率**
(直近売上総利益率23%)
- 1人あたりの売上・利益の増加

ストックビジネスの例

- **クラウドサービス**
- **データセンターサービス**
- SS受託計算 (ガソリンスタンド)
- プリント・封入封緘

過去10年のストックビジネス売上高の推移 (連結)

(単位: 百万円)



業務アプリケーション開発、パッケージソフト開発、データビジネス、AIサービス、制御組込、宇宙開発など、長年培った信頼関係により、多くのお客様のデジタルトランスフォーメーションをサポートします。



金融



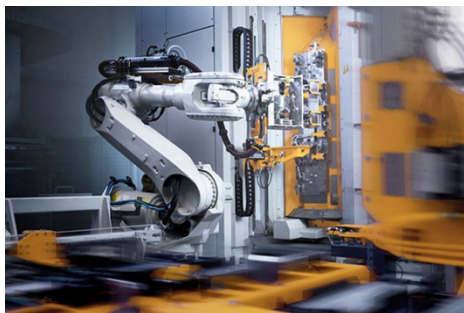
石油・ガス



小売り・流通



宇宙



製造



建設・不動産



鉄道・交通インフラ



医療



3. アイネットの強み

強み① 独立系Sierとしてトップクラスのデータセンター事業者
「データセンターを全国展開」 「1,200人の技術者」



強み② データセンターを軸に、システムの企画・設計から開発・運用、さらにはBPO業務まで、様々な業種・業態のお客様に最適なITサービスをワンストップで提供

コンサル
要件定義

システム
設計構築

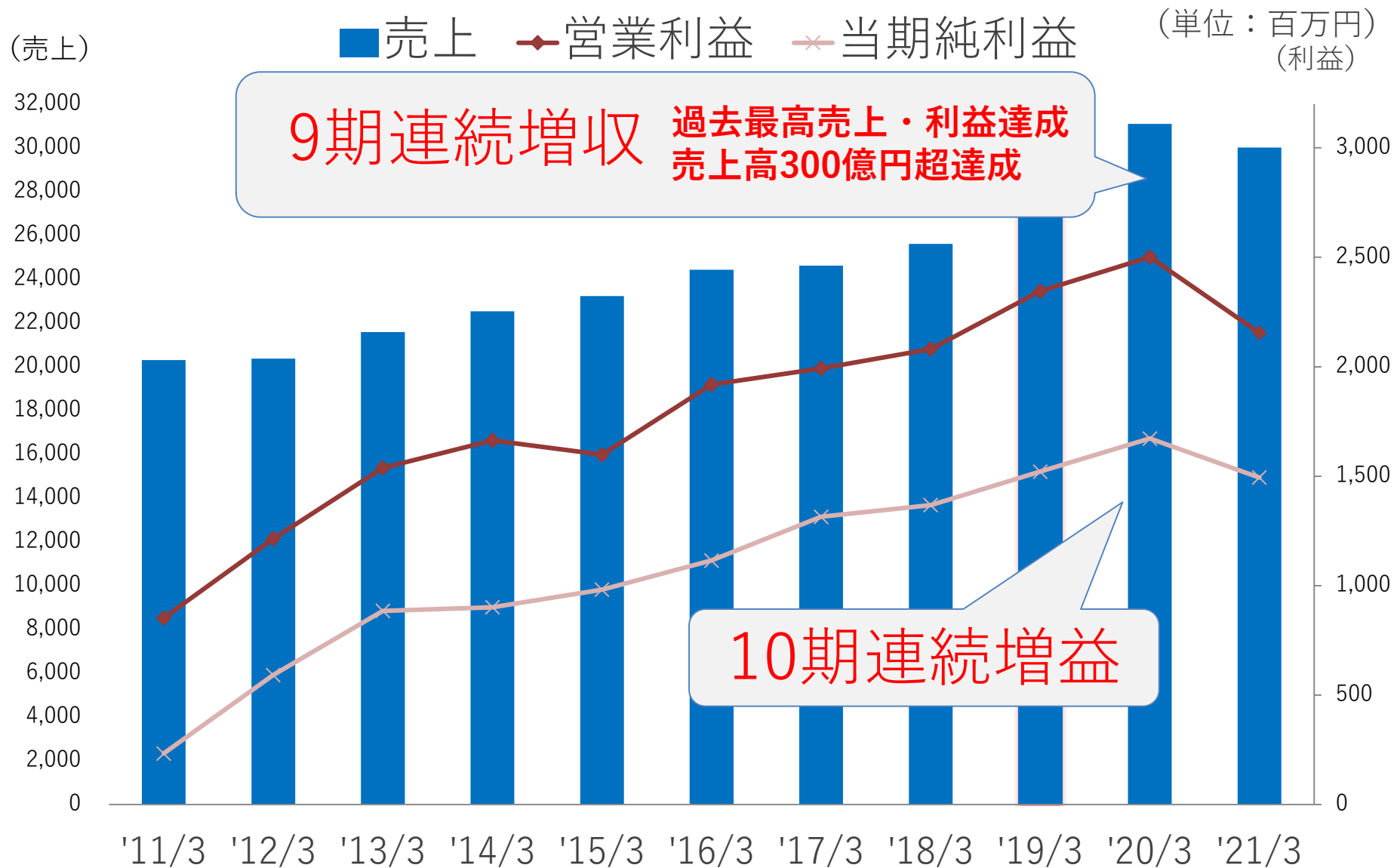
受託計算
データセンター
クラウドサービス

プリント
封入封緘

データセンター・ファシリティ

様々な業種業態のお客様に
当社のサービスを
ご利用頂いております。

4,300社





データセンター・クラウドサービス

(情報処理サービス内) ※2021年3月期末時点

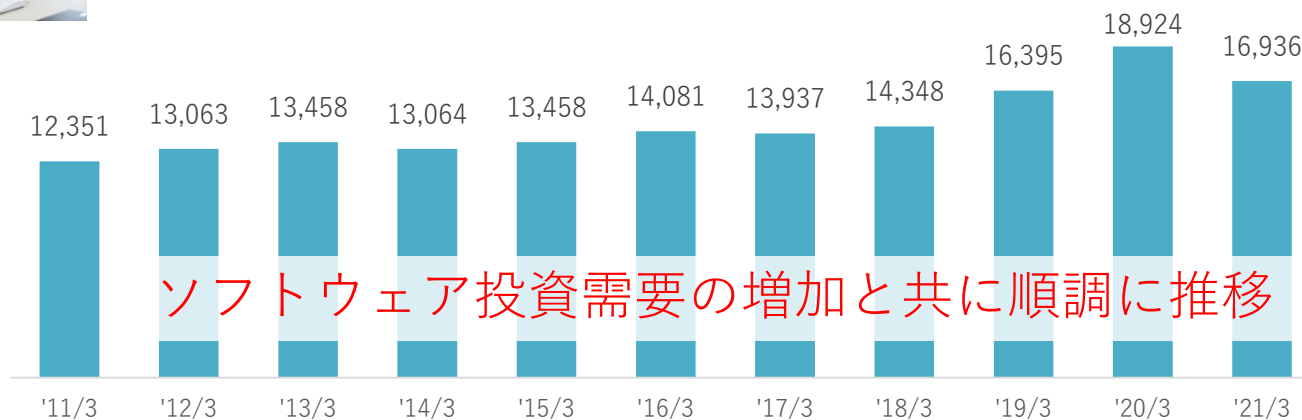
(単位：百万円)



システム開発サービス

※2021年3月期末時点

(単位：百万円)





4. 中期経営戦略

（単位：百万円）

		中計 初年度	2年度	最終年度	
	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年3月期	
	実績	実績	実績	計画	前年度比
売上高	27,591	31,097	30,016	32,500	8.3%
営業利益	2,345	2,501	2,155	2,330	8.1%
ROE	10.9%	11.3%	9.5%	10.0%	0.5%

1,2年目の状況

- 初年度は9期連続増収、増益。
- 中計期間を通じデータセンター・クラウドサービスが好調。
- 2年度の減収は、主に、新型コロナウイルス感染症拡大によるお客様のシステム開発投資の見直しによるもの。

最終年度の計画

- お客様とのエンゲージメント強化（より多くのお客様との接点拡大、新規取引のバックアップ体制整備）
- 非接触・非対面化を初めとしたニューノーマル時代におけるITサービスの強化
- IoT、AI、ビッグデータ、キャッシュレス、テレワーク等に対する商品・サービス力向上
- クラウドサービスの推進強化

お客様との絆を
より強固にする

「守り」

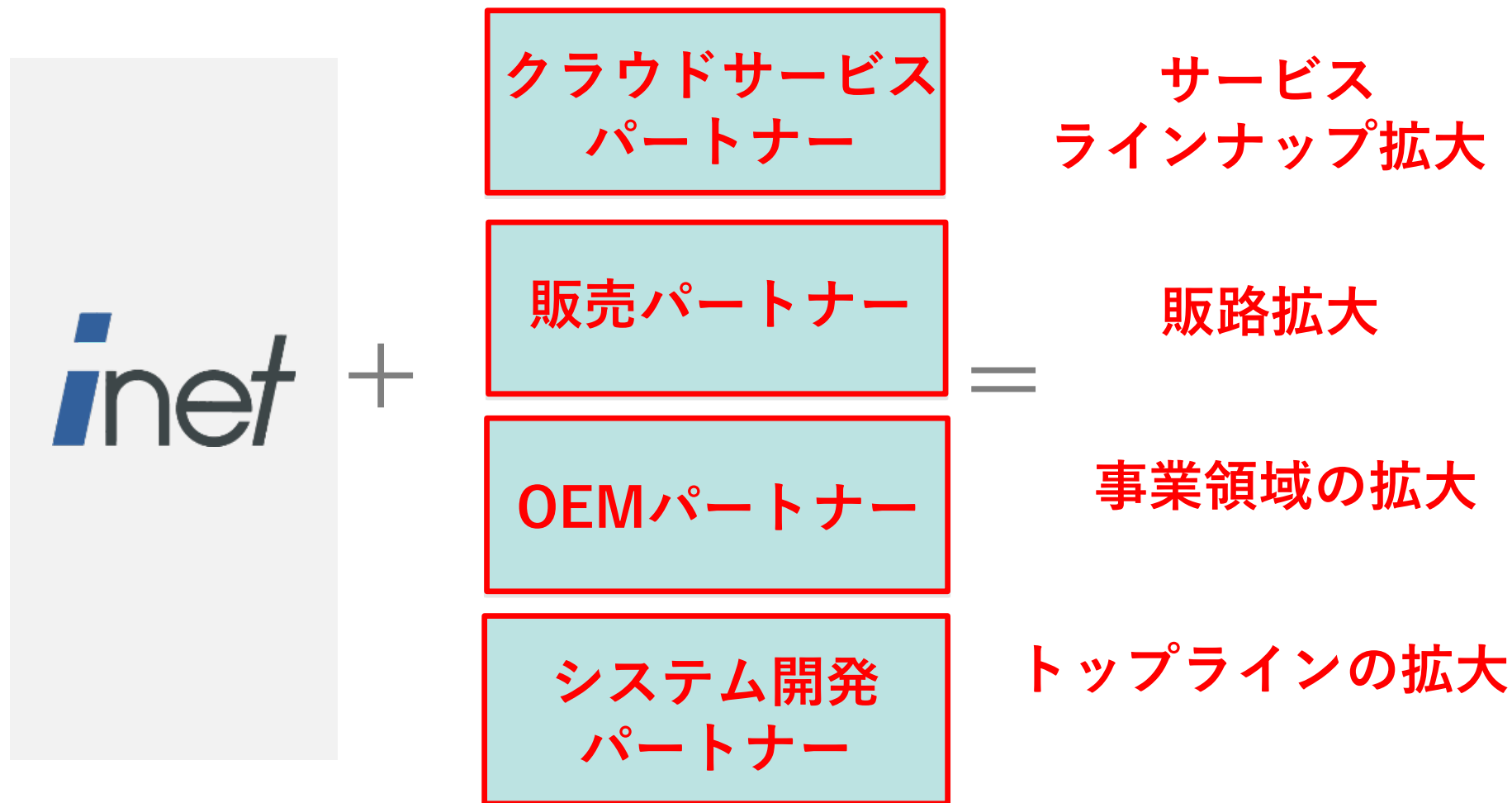


新たな市場領域や
サービスを開拓する

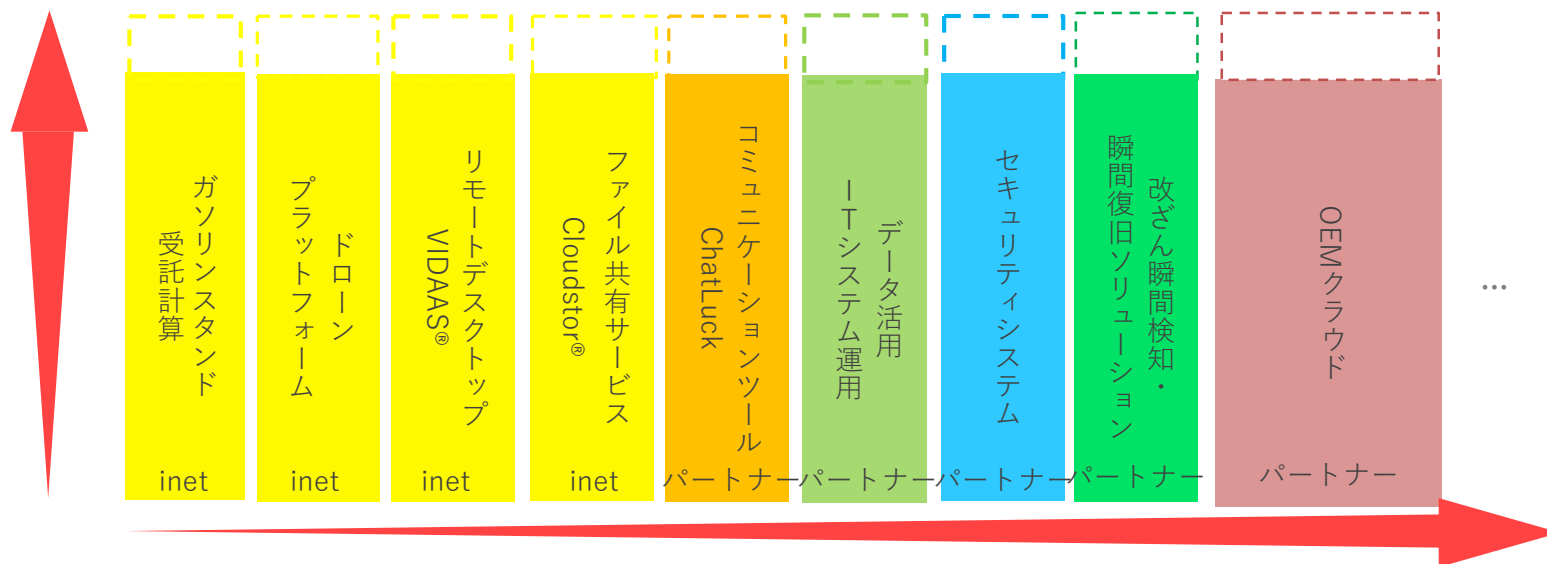
「攻め」

お客様第一の考え方の徹底
付加価値のある提案

成長が見込める商品・サービス開発
人材への投資



プラットフォームとしてクラウド基盤（NGEC） 提供と基盤から自社アプリまでのサービス化



Next Generation
EASY Cloud®

クラウドサービス・
OEMパートナー

株式会社ネオジャパン、株式会社ユニリタ、
株式会社電算、株式会社WorkVision など約20社

販売パートナー

リコーグループ、富士通グループ など約10社

ニューノーマル時代に適した様々な新しい取り組み



【働き方改革・ライフスタイル】

- テレワークツール推進支援窓口を設置、リモートデスクトップ等提供
- セキュリティ対策サービスを強化（ネットワーク、Endpointなど）
- 非接触、非密集対策（3密データ分析サービス、キャッシュレス等）



【データ・AI】

- データサイエンス、AIビジネスの領域拡大
- 画像解析、衛星データ活用への取組強化



【フィンテック】

- 新たなニーズに合わせたキャッシュレスやポイント対応開発の強化
- オープン化、クラウド対応をベースとしたパッケージリニューアル開発



【5G】

- ローカル5G、地域の公共サービス向上等に資する高速データ通信等

業務効率化およびデジタル人材の育成を図るため、
2021年10月1日付で合併会社を設立

商号	株式会社E N E O S デジネット
設立日	2021年10月1日
本社所在地	神奈川県横浜市中区（日石横浜ビル27階）
代表者	代表取締役社長 池田 幸司
資本金	1,000万円
出資比率	ENEOS80%、アイネット20%（※）
事業内容	ENEOSからの販売関連業務の受託

（※）アイネットは持分法適用

【目的】

- (1) デジタル技術（RPA等）を積極活用することによる業務効率化
- (2) 新技術に関する情報収集および当該技術の各業務への適用の検討・実証
- (3) デジタル人材の育成

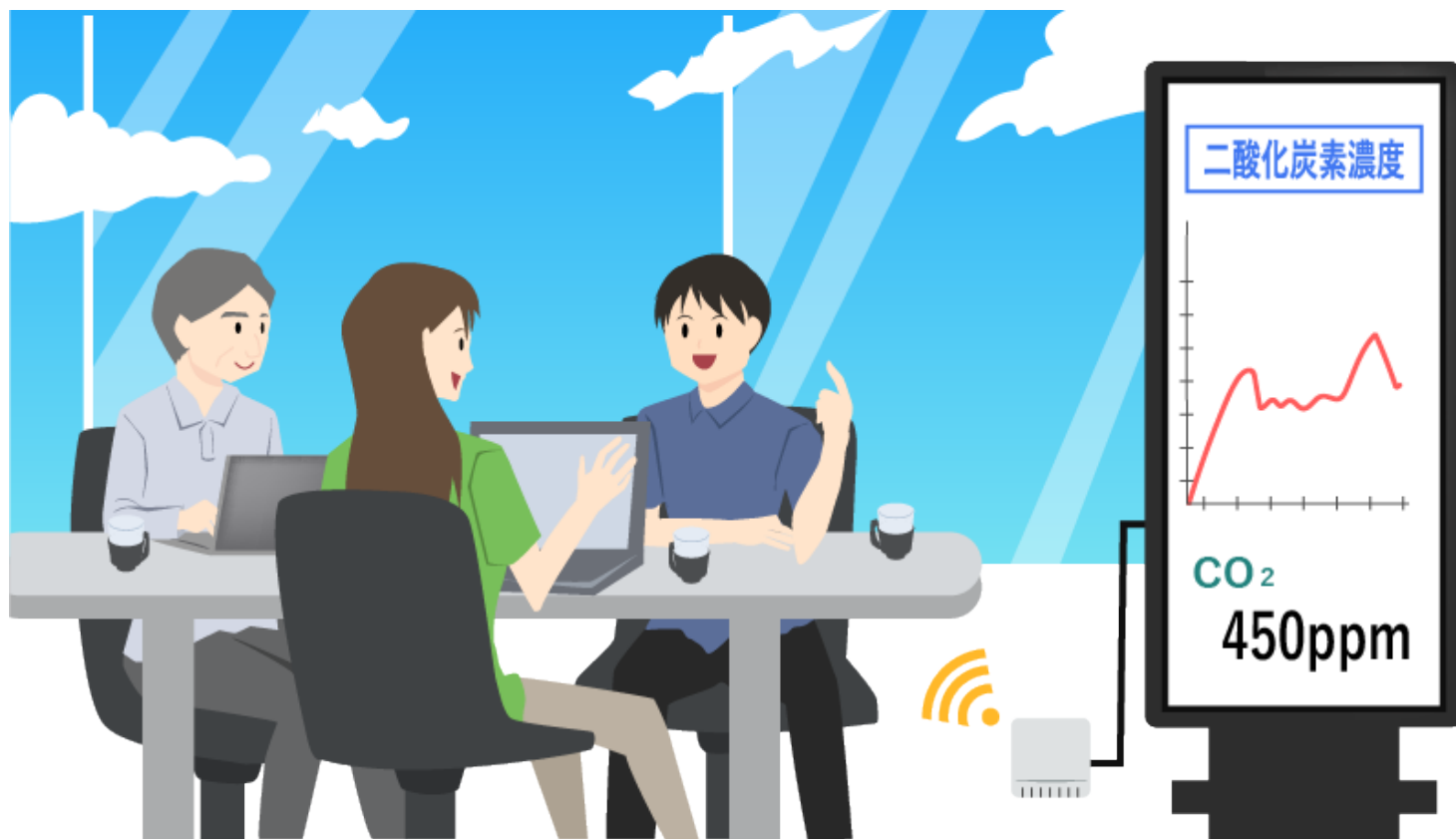
新型コロナ対策 3密データ分析サービス

i-visible CO₂[®]

3密対策

安心・安全

予測・見える化



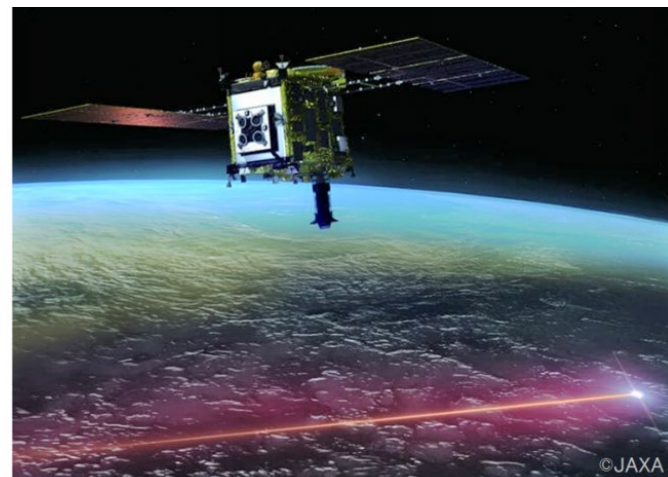
1977年の気象衛星ひまわり初号機開発からスタートし、
40年以上宇宙開発に貢献

【宇宙ビジネスのトレンド】

- 政府・宇宙機関主導⇒民間企業も宇宙ビジネスに参加
- 人工衛星分野では技術の進歩で低コストでの開発が可能な小型衛星が主流となり、
将来市場規模が大幅に拡大を見込む

【アイネットの宇宙事業の強み】

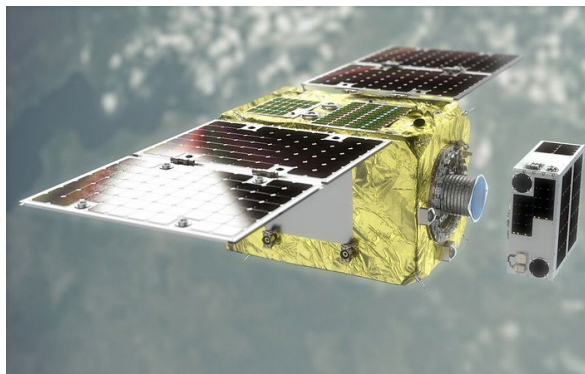
- 40年以上人工衛星のシステム／サブシステム設計、
検査／試験、運用／評価解析を提供
- 2020年12月にカプセルを投下した「はやぶさ2」の
開発案件に携わり、その他多くの案件にも携わる
- 有力宇宙スタートアップの殆どから衛星開発協力の
依頼があり、今後更に連携を強化



※提供：JAXA
カプセルを地球に投下した「はやぶさ2」のイメージ
(カプセルの軌跡が光っている)

【宇宙デブリ除去における当社の参画】

宇宙デブリ除去のパイオニアであるアストロスケールホールディングスへの直接出資及び衛星開発や地上局設備の運営等で密接な関係を構築



※デブリ除去衛星開発：打上げ衛星の組立・試験・運営等、製造及びサービスに係る業務をご支援

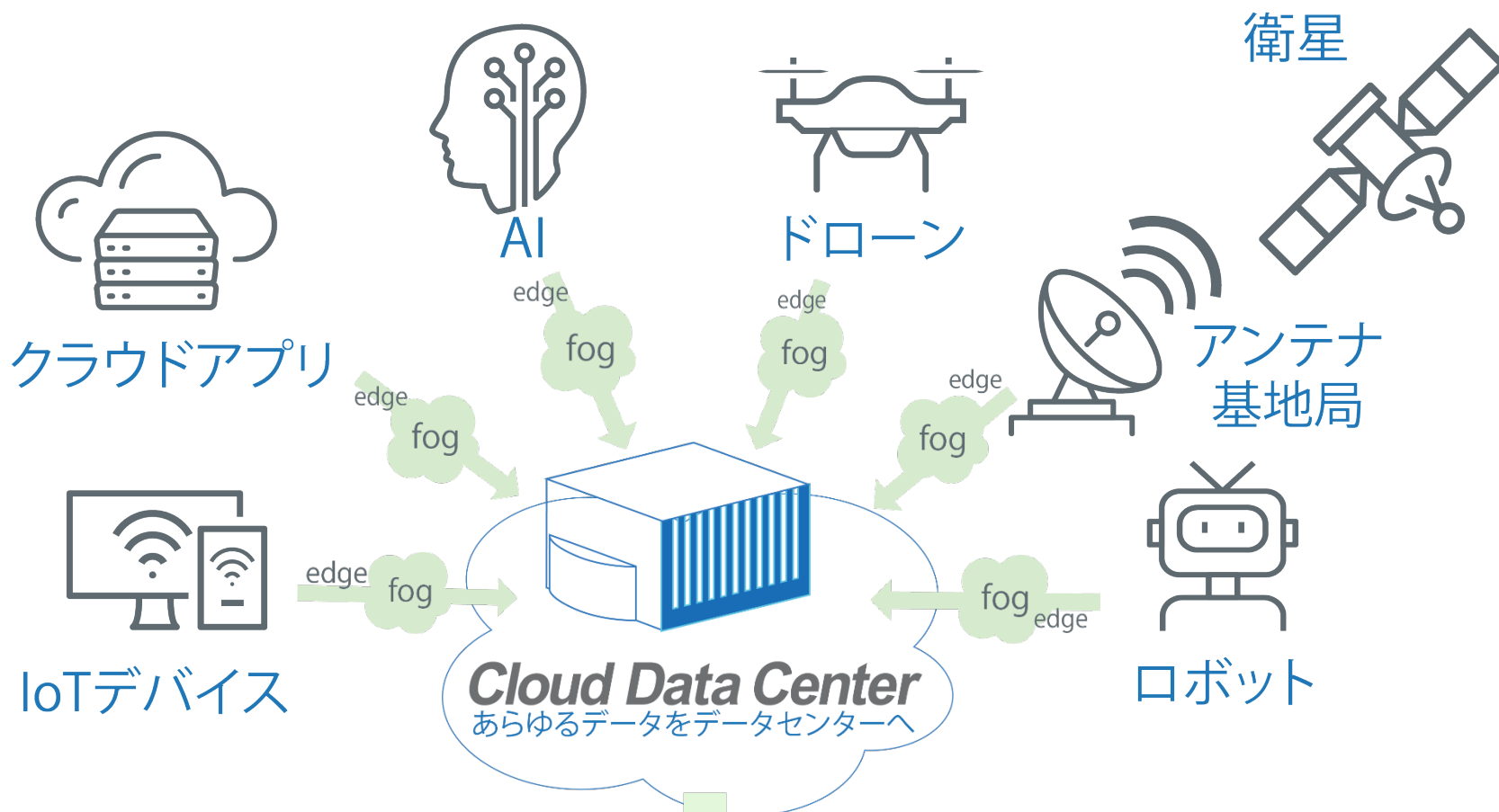


※地上局運営：当社敷地内に設置したパラボラアンテナを含む地上局設備の運営・保守・維持管理

今後も更なる関係を強化すると共に、重要な衛星からの受信データの蓄積、バックアップ、データ配信等をサポート

【衛星データ活用、超小型衛星開発事業】

東京工業大学を中心とした産学連携による超小型天文・陸・海観測衛星プロジェクトに参画(JAXA革新的衛星技術実証3号機に搭載)



ビック
データ



データ
アナリシス



5. ESGへの取組み

企業理念の下、経済価値、社会価値、環境価値を同時に創出し、社会への貢献を果たしていきます。

Environment (環境)



環境に配慮した
グリーンデータセンター

Social (社会)



働きやすい職場、
ダイバーシティへ

Governance (ガバナンス)



監査等委員会設置会社への移行、
指名・報酬諮問委員会の設置

■健康経営優良法人2021
ホワイト500
(3年連続認定)



経済産業省が、優良な健康経営を実施している法人を評価する制度

■えるぼし最高位
2018年10月認定



厚生労働大臣が女性活躍を推進している優良な事業主を認定

■くるみん
2012年5月認定



厚生労働大臣から『子育てサポート企業』として認定

【障がい者雇用の促進】

『アイネット・データサービス』

障がいのある方に活躍の場を提供し、
自律を支援することを目的に特例子会社
(厚生労働大臣認定) を設立

自立そして自律

自立

成長

自律

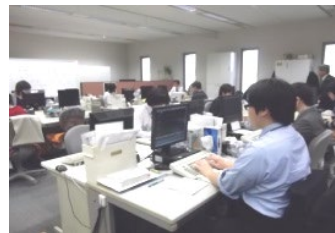


■主な業務



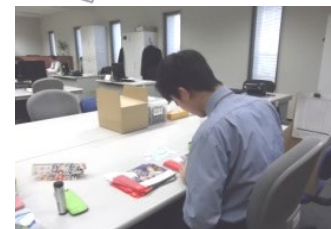
データ入力

スキャニング



軽作業

名刺作成 他



障がい者の雇用機会を増やし、社会と地域に貢献するため、アイネット100%出資の特例子会社として2009年4月に設立。

アイネットグループの障がい者雇用特例子会社である株式会社アイネット・データサービスと共に、PCおよびサーバーなどのハードディスクを産業廃棄前に確実にデータを消去・破壊するサービスを新たに展開

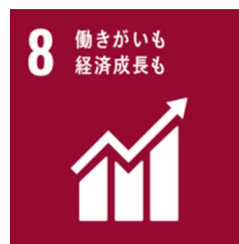
磁気消去



物理破壊



1. アイネットのデータセンター内に作業所を持つ株式会社アイネット・データサービスにおいて実務を実施。
2. お預かりしたPCやサーバーがデータセンターの外に出ることなく処理が完結するため、データ流出リスクをなくすことができる。



2020年1月、アイネット地域振興財団が公益認定を取得。長期的かつ安定的な活動を実現し、よりよい地域社会の発展に貢献する活動を支援していくことで、ESG活動・社会貢献を実施してまいります。

公益財団法人 アイネット地域振興財団



神奈川のよりよい地域社会の発展を応援します。

私たちは、神奈川のさまざまな社会貢献活動を支援することを目的に設立された財団です。



財団ウェブサイトURL

<https://www.inet-found.or.jp/>

神奈川県域で以下の事業を行います

- ① 以下に関する活動を行う団体等の持続性やその活動を支援・助成または評価・顕彰する事業
 - ・ 子ども・青少年の健全な育成、教育
 - ・ スポーツ等を通じた心身の健全な発展
 - ・ 公衆衛生の向上
 - ・ 環境保全・整備
 - ・ 地域社会の健全な発展
- ② その他公益目的を達成するために必要な事業

【実績】

- 2019年度：13団体
- 2020年度：14団体
- 2021年度：22団体

※ アイネット地域振興財団は、当社創業者である創業者最高顧問の池田典義が設立し、神奈川県内で社会貢献活動（公益を目的とする活動）を行う団体の持続可能な活動を支援・助成することを目的とする公益財団法人です。

【子育て・女性活躍支援サイト】

よこはま
働くママ
応援し隊

「働くママ応援し隊」は、横浜市内の保育園情報満載！
働くパパママの保活を応援します！

横浜市内の保育園を探す／

お気に入り

HOME | 保育施設の種別と
利用案内について | 子ども・子育て
支援新制度について

区
から探す

路線
から探す

施設名
で探す

働くママ
応援し隊

横浜市
の
保育園情報満載！

保育園情報量 No.1

掲載施設 1773件

育児に、仕事に、
頑張るパパママを応援します！

横浜市内の保育園を探す

区
から探す

路線
から探す

施設名
で探す

検索

検索

検索

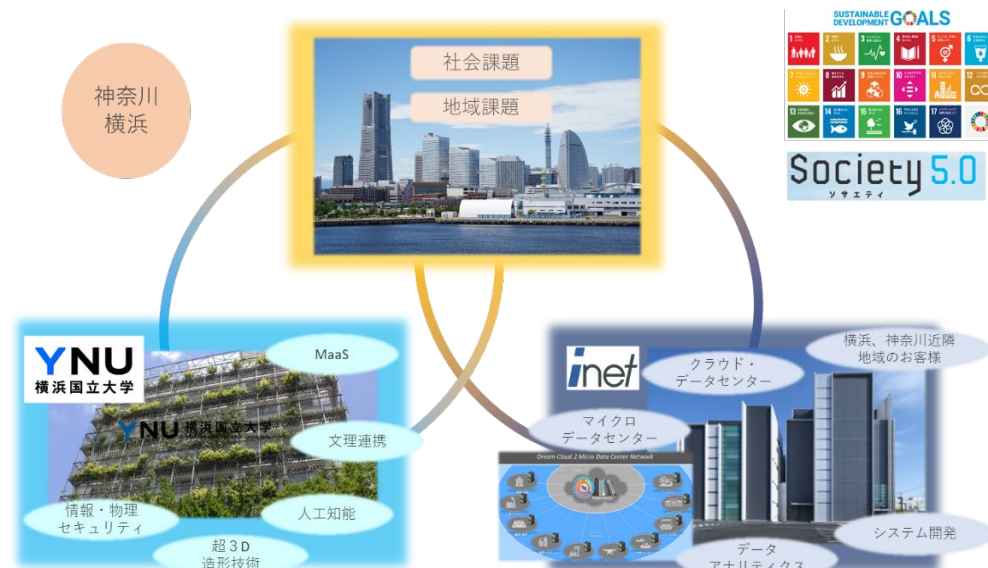
横浜市オープンデータを
活用した保育施設検索サイト
「働くママ応援し隊」を運営

- 横浜市内の保育園を、「区」、
「路線」、「施設名」から
簡単に検索できます。
- 保育施設の種別、利用案内、
子ども・子育て支援制度、
地域子育て支援拠点などの
情報も満載です。

2019 年12 月、国立大学法人横浜国立大学と株式会社アイネットは包括連携協定を締結しました。



締結式の様子



連携協定で標榜する課題解決

【目的】

「社会や産業の課題の発掘およびその解決に資する研究開発の知見の共有を通じ、実装により社会に貢献すること」

【連携・協定事項】

1. 社会や産業が求める価値・課題の検討、研究開発テーマの選定。
2. 共同開発、事業化、実装に向けた各種検討。
3. 本連携に資する人材交流や意見交換会の実施。
4. 情報セキュリティマネジメント体制構築に関する協力。

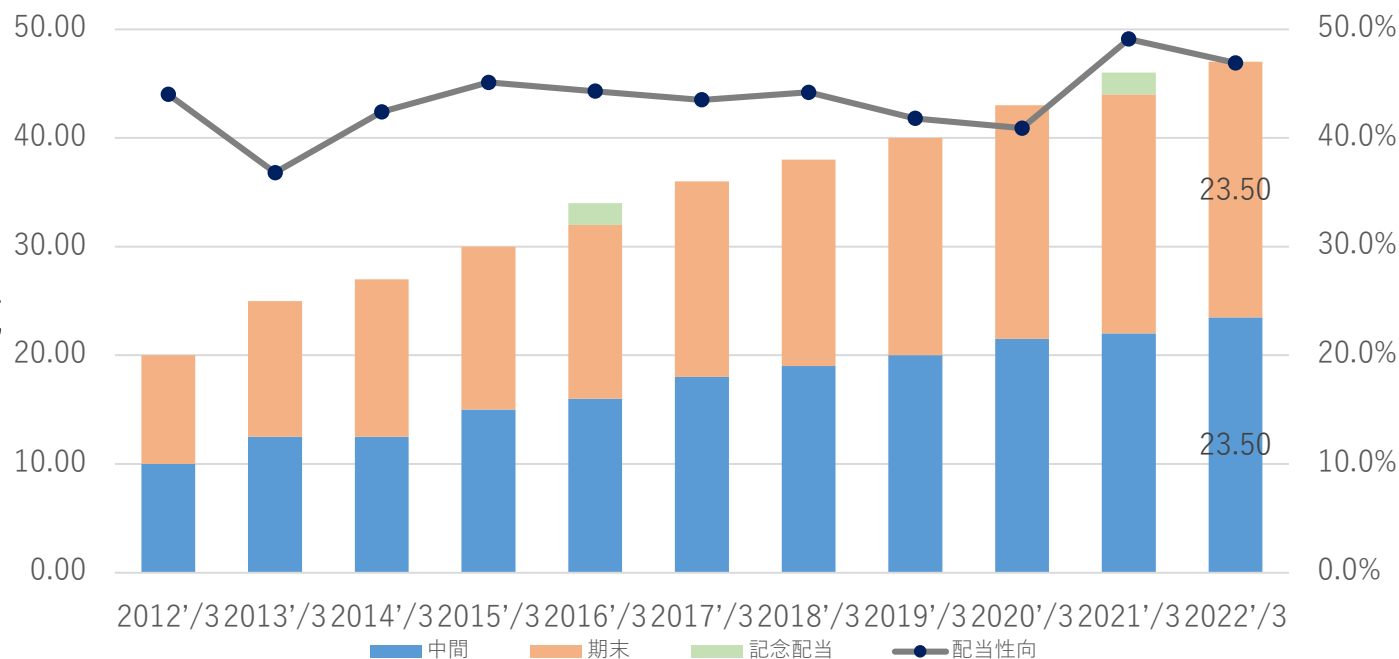


6. 株主還元

《配当方針》

将来の資金需要に
備え内部留保しつつ
安定配当を継続実施

**10期連続
増配予定**



※16年10月1日に株式分割をしておりますが、配当実績（予想）で記載しております。（分割影響調整せず）

《1株当たり年間配当金の実績・計画》

2020年3月期

43.0円

中間 (21.5円)

期末 (21.5円)

2021年3月期

46.0円

中間 (22.0円)

期末 (24.0円) ※

2022年3月期

47.0円

中間 (23.5円)

期末 (23.5円)

※2021年4月に創立50周年を迎え、株主の皆様への感謝の意を込めまして、期末に記念配当2円を含め、増配。

当社への投資の魅力を高めることを目的に
株主優待制度を設けております。

■ 毎年9月30日時点で1,000株以上保有の
株主様へ年1回クオカードをご進呈

■ 保有株数で変動

1,000株以上	1,000円分のクオカード
3,000株以上	2,000円分 //
5,000株以上	3,000円分 //



+ 社会貢献

■ **長期保有プレミアム**

3年以上保有で+1,000円分

進呈額の10%を別途、
当社より障がい者団体等へ寄付



株式会社アイネット

証券コード
9 6 0 0

本日はご視聴いただき誠に
ありがとうございました。

当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は
今後様々な要因により予想数値と異なる場合がありますことを、予めご承知頂き
ますようお願い申し上げます。

当資料に掲載されているサービスおよび商品などは、株式会社アイネットある
いは各社の登録商標または商標です。

お問い合わせは下記連絡先までお願い致します。

経営戦略・IR部

TEL 045-682-0806

E-Mail contact_ir@inet.co.jp

URL <https://www.inet.co.jp>



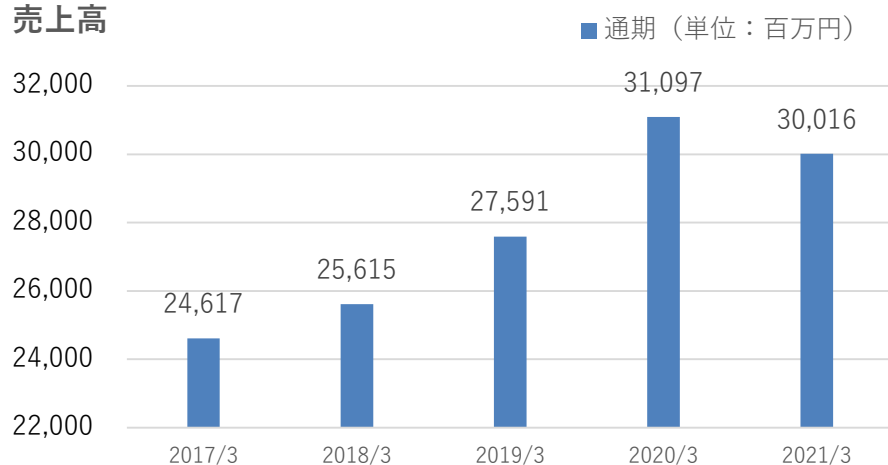
2020年6月に投資家情報ページ全面リニューアル



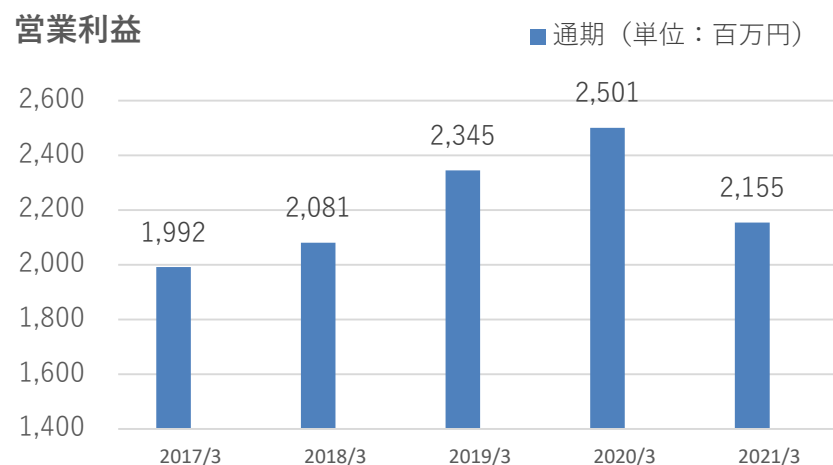
Appendix

2022年3月期2Q 業績概要

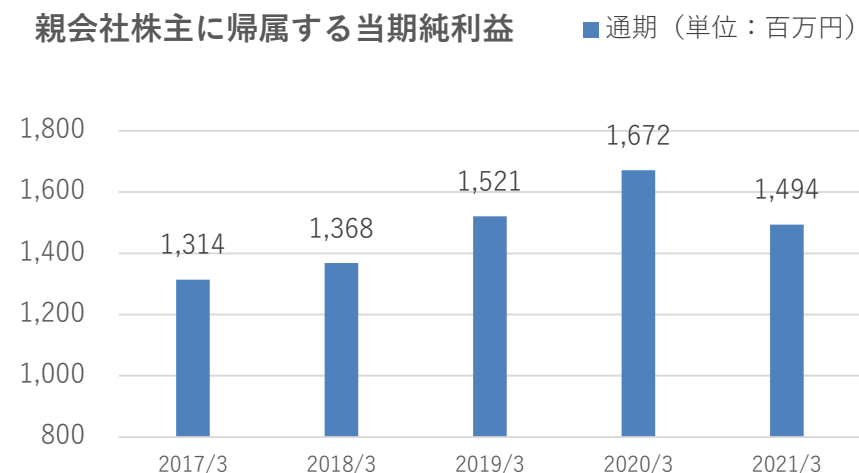
売上高



営業利益

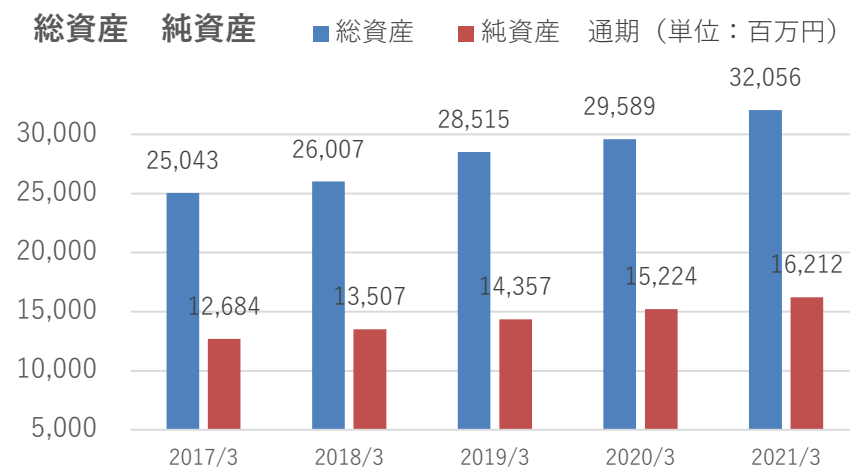


親会社株主に帰属する当期純利益



総資産

純資産



（単位：百万円・％）

	2021年3月期2Q		2022年3月期2Q		前年同期比	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	14,884	100.0	14,935	100.0	50	0.3
売上原価	11,734	78.8	11,559	77.4	▲175	▲1.5
売上総利益	3,150	21.2	3,376	22.6	226	7.2
販管費	2,320	15.6	2,389	16.0	69	3.0
営業利益	829	5.6	986	6.6	156	18.9
経常利益	854	5.7	1,095	7.3	241	28.2
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	372	2.5	715	4.8	342	92.1
1株当たり利益（円）	23.3	—	44.7	—	21.4	—

※2022年月期2Qは、収益認識会計基準適用後の金額となっております。

収益認識会計基準適用による売上高の増加は334百万円、営業利益及び経常利益は180百万円となります。

（単位：百万円・％）

		2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	増減	
				増減額	増減率
情報処理 サービス ①	売上高	5,882	6,077	194	3.3
	売上総利益	1,326	1,434	107	8.1
	売上総利益率	22.6	23.6	1.0	—
システム開発 サービス ②	売上高	8,367	8,339	▲27	▲0.3
	売上総利益	1,740	1,837	96	5.6
	売上総利益率	20.8	22.0	1.2	—
システム機器販売	売上高	634	518	▲116	▲18.3
	売上総利益	82	104	22	26.8
	売上総利益率	13.0	20.2	7.2	—
合計	売上高	14,884	14,935	50	0.3
	売上総利益	3,150	3,376	226	7.2
	営業利益	829	986	156	18.9
	営業利益率	5.6	6.6	1.0	—

① データセンター利用およびガソリンスタンド向け受託計算が寄与し増収。DX推進等がデータセンター・クラウド等の利用増につながっているものと考えられる。

② システム開発サービス売上高において、金融業・流通業・通信サービス業などにおいて順調に回復。新規の開発案件に立ち上がりの遅れが出ていること、及び前第1四半期に寄与した大型案件がその後中止となった影響により減収。売上総利益は要員の運営効率改善により、前年同期比増加。

（単位：百万円・％）

	2021年3月期末		2022年3月期 2Q		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	10,561	32.9	9,436	29.7	▲1,124	▲10.6
固定資産	21,494	67.1	22,348	70.3	853	4.0
資産合計 ①	32,056	100.0	31,785	100.0	▲271	▲0.8
流動負債	8,625	26.9	8,910	28.0	285	3.3
固定負債	7,218	22.5	5,975	18.8	▲1,243	▲17.2
負債合計 ②	15,843	49.4	14,886	46.8	▲957	▲6.0
純資産 ③	16,212	50.6	16,898	53.2	685	4.2
負債・純資産合計	32,056	100.0	31,785	100.0	▲271	▲0.8

（主な要因）

- ① 現金及び預金の減1,152百万円、出資や評価額の見直しによる投資有価証券の増909百万円。
- ② 長期借入金の減1,328百万円、その他流動負債増276百万円。
- ③ 利益剰余金の増82百万円、その他有価証券評価差額金の増608百万円。

（単位：百万円）

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,154	① 1,423	269
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,167	② ▲861	305
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲633	③ ▲1,714	▲1,081
現金及び現金同等物の増減額	▲646	▲1,152	▲506
現金及び現金同等物の期首残高	3,083	4,027	944
現金及び現金同等物の期末残高	2,436	2,875	438

（主な要因）

①増加・・・税金等調整前当期純利益1,088百万円、減価償却による資金の内部留保で906百万円、売上債権の増加354百万円等。

減少・・・法人税等の支払443百万円等。

②主に既存顧客の大型受注に伴うデータセンターの設備増設を初めとした有形固定資産の取得による369百万円の支出、また、自社パッケージ開発等の無形固定資産の取得による支出376百万円。

③有利子負債の減少1,266百万円、配当金の支払382百万円。

日経平均、NEEDS業種平均、アイネットの比較 2011年1月～2021年9月



2021年9月30日終値

株 価	1,372円
時価総額	22,285百万円
1株配当 (予定)	47.0円
配当利回り	3.43%

※2011年1月4日時点を基準とし、日経平均、NEEDS業種平均、アイネットの株価をそれぞれ比較し、指数値 (%) を独自で算出したもの。(期間：2011年1月4日～2021年9月30日時点)